

2019年12月27日

各位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

多様な働き方を後押しするための副業のサポート実施について ～従業員に向けて副業マッチングプラットフォームを紹介～

当行は、副業・兼業(以下、「副業」)へ興味・関心を持つ従業員を対象に、他社が提供する副業マッチングプラットフォームを紹介する取り組みを開始しました。

本年5月に発表した新生銀行グループの中期経営戦略「金融 リ・デザイン」において、戦略分野への人材確保や女性活躍を中心としたダイバーシティの取り組みと、柔軟な働き方の実現などの人事施策を通じた組織的能力の向上を掲げています。これまでも、ドレスコードの廃止や在宅勤務制度の拡充など各種制度^{※1}を導入しており、多様な働き方を推進しています。また、2018年4月以降、国内銀行業界において先駆けて副業の解禁を行っており、これまでに延べ約70名のグループ従業員が副業に取り組んでいます。

副業の解禁から約1年半が経過する中で、現在副業をしている従業員以外にも、副業を通じた社外での人脈・ネットワークの拡大や、社外での経験による自己のスキルアップなどを期待する従業員の潜在的な関心がみられることから、このたび、従業員の自発的な取り組みをサポートするため、個人事業主型の副業を希望する新生銀行の従業員を対象に、以下の3社が提供する副業マッチングプラットフォーム^{※2}を紹介します。本取り組みは、今後グループ各社においても順次拡大していく予定です。なお、副業マッチングプラットフォームの紹介は、業務外の活動として、副業に関心を持つ従業員が自身の判断で実施する際の参考情報として情報提供するものです。

新生銀行グループでは、持続的な価値創造を創出するための組織的能力を強化・活用していくことで、従業員がライフステージ、ライフイベントなどの制約を受けず、時間や場所に縛られない自由な働き方ができる組織風土を目指しています。これからも、女性、シニア層をはじめ、多様な人材が活躍するための働き方改革施策を積極的に推進していきます。

- 株式会社ビザスク(東京都目黒区、代表取締役 CEO 端羽 英子)のプレスリリースは[こちら](#)
- 株式会社スキルシフト(東京都港区、代表取締役社長 岡本 祥治)に関するプレスリリースは[こちら](#)
- 株式会社リクルート(東京都千代田区、代表取締役社長 北村 吉弘)のサービス「BizGROWTH^{※3}」の実証事業開始時のプレスリリースは[こちら](#)

※1 別紙参照

※2 副業を行いたい人が、個人や法人に対するコンサルティングやアドバイスを提供するために、副業を行いたい個人とコンサルティングやアドバイスを受けたい個人/法人のマッチングを行う、ウェブ上のプラットフォームサービス

※3 本サービスは現在実証実験の段階にあり、サービスの継続は一定条件や期間のもと判断されます。

以上

お問い合わせ先
新生銀行 グループ IR・広報部
下村、紀、風間
Tel. 03-6880-8303

【別紙】多様な働き方の推進（2018年4月以降）

制度など（対象者）	時期	内容など
副業・兼業の解禁 （全従業員）	2018/4	▶ 個人事業主型（業務委託、起業、会社役員など）あるいは他社雇用型のいずれも、競業、利益相反、反社等の制限に抵触しない限り、全従業員に幅広く兼業を承認（就業時間等に一定の制限あり）。
セカンドキャリア支援制度 （一定年齢の一般行員）	2018/6	▶ 2018年6月から導入。一定年齢以上で当行外でのキャリアを目指す者に対し、優遇措置を適用。
ドレスコードの廃止 ⁽¹⁾ （全従業員）	2019/8	▶ 新生銀行グループで服装に関する一律のルールを廃止。個人の自律的な嗜好や個性を尊重して、働きやすい環境を整備。
在宅勤務制度の拡充 （全従業員）	2019/10	▶ 2018年4月に正式導入し、2019年10月には原則週2回の制限廃止、対象者を全従業員に拡大、1日のうちオフィス勤務と在宅勤務を組み合わせるなど柔軟な運営を開始。
「くるみん」認定取得 ⁽²⁾	2019/10	▶ 新生銀行で初めて「くるみん」認定を取得。仕事と育児の両立に関する人事制度導入や支援体制の構築などの取り組みが評価。



(1) 接客など対顧業務がある一部の部署は参考ガイドラインを例示

(2) 新生銀行グループでは、2018年に新生フィナンシャルが「プラチナくるみん」認定を取得